
~ 桜の元で舞う恋 ~

雪羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

～桜の元で舞う恋～

【Nコード】

N2182Z

【作者名】

雪羅

【あらすじ】

恋を皆さんも一度は経験したことがありますよね。この話は神代達也を中心に、色んな男女の恋を描いた物語です。

EP01（前書き）

一次創作です。いろいろな方に見て頂けると幸いです。

EP01

恋。それは、誰でも一度は経験したことのある感情。この話は、京都を舞台に広がる恋の物語。

「よいしょっと…」

少年神代達也は登校の準備をしていた。

京都府立京都鳳凰学園高等部。先日入学式を終え、達也は新一年生として登校しようとしていた。

「んじゃ、行ってくるよ、父さん、母さん」

仏壇の写真にそう告げて達也は家を出て行った。

達也は自分の所属する一年一組の教室へと向かった。時計は八時二十八分を指していた。

「やばいな…！」

達也は廊下を走った。前を見ずに…。

どんっ！！

「痛てっ！」

「きゃっ！」

ぶつかった。よくある展開だ。いやいや、ありえない。漫画じゃあるまいし。とりあえず謝ろう。

「ごめんなさい、大丈夫ですか？」

「い、いや、こちらこそ…」

ぶつかった相手を見た。

「あ……………」

相手は女子生徒だった。鋭さがあるものの、綺麗、と言える容姿だった。

「あの…こうなったのも何かの縁だし…、名前、聞いていいですか…？」

「ふつ、面白い奴だな。私は如月志野。一年一組だ」

「お、俺は神代達也。同じ一組」

「では戻るぞ」

「は、はい」

如月さんか……。綺麗、だったな……。

一年一組の教卓に立っているのはクラス担任の若月美奈先生。どうやらこの学校では人気があるらしい。

「それでは、自己紹介をしてもらいます」

自己紹介、か。如月さんの事少しは知ること出来るかな……。

達也がそんなことを考えている内に順番が回ってきた。

「神代達也です。特技は……剣道、趣味は焼き物です。よろしくお願ひします」

「はい、これからよろしくね神代君。次は……如月さん、よろしくお願ひします」

「はい」

志野の順番が回ってきた。達也はそれを心待ちにしていた。

「如月志野です。特技は剣道、趣味は料理です。これから一年間よろしくお願ひします」

俺と同じ特技か。意気投合出来たらいいな……。

一時間目は日本史。最初に個々の実力を計るためのプレテストが行われた。

（お、楽勝楽勝～）

達也は日本史が得意だった。

「うつつ……」

後ろからうなり声が聞こえてきた。後ろの席って……。

「如月さん？」

達也は小声でその名を呼んだ。

「か、神代？」

志野もまた小声で返事をした。

「解らない所があるの？」

「ああ…この江戸幕府八代目將軍が…」

江戸幕府八代目將軍といえは…。

「徳川吉宗。これで正解だよ」

「すまない、助かる」

志野はお礼の意味を持つほほえみを達也に向けた。

（笑うと、可愛いな…／＼／＼）

達也は心でこう思った。

（協力出来ることがあったら、力になってあげよう…）

EP01（後書き）

難しい…一次創作は…。更新は凄く遅いですがよろしく願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2182z/>

～桜の元で舞う恋～

2011年12月7日22時51分発行